

令和7年度 八王子市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する報告

令和8年5月

八王子市（東京都）

○計画期間: 令和5年4月～令和10年3月(5年間)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和7年度終了時点(令和8年3月31日時点)の中心市街地の概況

令和7年度は、第2期八王子市中心市街地活性化基本計画の3年目として、これまで実施してきたハード・ソフト両面の取組の効果により、中心市街地のにぎわいが創出されている。

えきまえテラスをはじめとする滞留空間を活用した民間事業者主体のイベントの継続的な実施が定着化し、休日を中心に中心市街地に人が集まる機会が増加し、歩行者通行量の増加に大きく寄与している。一方で、歩行量の調査地点別に見ると増減にばらつきはあるため、中心市街地全体の回遊性の向上を目指し、引き続き着実に事業を実施していく必要がある。

空き店舗数は、空き店舗改修・リノベーション事業などの出店支援施策を継続的に実施したことにより、昨年度に続き目標値達成を維持している。また、近年は飲食店を中心に魅力ある個店の出店が多く見受けられ、新たな地域ブランド創出の機運も高まりつつある。

まちなか休憩所八王子宿やまちの駅八王子 CHITOSEYA 等の地域交流活動施設の来場者数は、引き続き目標値を大きく上回る状態を維持しており、中心市街地における多世代交流の場としての役割が一層定着している。

令和8年度は、JR 八王子駅南口において桑都の杜がオープンするとともに、JR 八王子駅から約3キロメートルに位置する滝山町において、広域からの集客が見込まれるイオン八王子滝山がオープンする。これらの新たな拠点の誕生は、市内外からの来訪者増加につながることを期待されており、中心市街地と連携した取組の重要性が一層高まっている。

今後は、引き続き「官・民・地域」が連携し、本市が有する地域資源を活用し、観光客増加に向けた施策も推進することで、さらなる中心市街地への人流促進と地域経済の活性化を図る。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(1) 居住人口

(基準日：毎年度12月31日)

(中心市街地 区域)	令和4年度 (基準年値)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)	令和8年度 (4年目)	令和9年度 (5年目)
人口	34,183	34,401	34,489	34,769		
人口増減数	951	218	88	280		
自然増減数	▲69	測定不能		▲137		
社会増減数	1,106			1,635		
転入者数	3,920			4,097		

(2) 地価

(単位 : 円/m²)

住所表示	交通施設からの距離		令和4年度 (基準年値)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)	令和8年度 (4年目)	令和9年度 (5年目)
旭町 2-6	八王子駅前 広場接面	地価	2,600,000	2,710,000	2,840,000	3,000,000		
		基準年度からの増減率	-	4.23%	9.23%	15.38%		
中町 3-14	八王子駅から 360m	地価	556,000	583,000	620,000	700,000		
		基準年度からの増減率	-	4.86%	11.51%	25.90%		
明神町 4-2- 18	京王八王子駅 から220m	地価	406,000	425,000	449,000	480,000		
		基準年度からの増減率	-	4.68%	10.59%	18.23%		
三崎町 5-10	八王子駅から 440m	地価	404,000	420,000	444,000	482,000		
		基準年度からの増減率	-	3.96%	9.90%	19.31%		
横山町 9-13	八王子駅から 580m	地価	436,000	454,000	480,000	520,000		
		基準年度からの増減率	-	4.13%	10.09%	19.27%		
子安町 1-32- 16	八王子駅から 520m	地価	298,000	315,000	335,000	370,000		
		基準年度からの増減率	-	5.70%	12.42%	24.16%		
東町 7-4	八王子駅から 200m	地価	1,270,000	1,320,000	1,390,000	1,470,000		
		基準年度からの増減率	-	3.94%	9.45%	15.75%		

2. 令和7年度 of 取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

令和7年度は、第2期計画の主要事業の一つである「伝統文化伝承・未来創造プロジェクト」において、東京観光財団の支援のもと、令和6年度に実施した「桑都千景」をさらに発展させる二つの事業を開始した。

一つは、江戸時代から受け継がれる指定文化財を活用した歴史・文化体験の創出。もう一つは、マーケティング調査による来街者ニーズの分析と、緑豊かな自然に囲まれた文化・歴史をはじめとする地域資源を生かした「桑都千景」戦略ビジョンの策定である。

計画期間4年目となる令和8年度は、これらの事業を具体的な形へと展開するとともに、既存イベントとの親和性を高めながら、中活事業に関わる新たな取組との連携を図っていききたい。中心市街地居住者及び来街者が、安心して心豊かに過ごし、楽しめるまちの実現に向け、地域一丸となって取り組んでいく。

Ⅱ. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況※1	目標達成に関する見通し※2	
						前回の見通し	今回の見通し
文化・歴史をはじめとする様々なまちの魅力を感じ、回遊できるまちなみ空間の創出	歩行者通行量 (平休日平均) (人/日)	117,769 人/日 (H30～R3 の平均)	130,500 人/日 (R9)	118,742 人/日 (R7)	B	A	A
	【参考指標】 てくポ利用者数 (人/年)	300 人/年 (R4)	2,170 人/年 (R9)	5,039 人/年 (R7)	A	A	A
市民や来街者を惹きつける、個性あふれる商業空間の創出	空き店舗数 (店舗)	86 店舗 (R3)	65 店舗 (R9)	62 店舗 (R7)	A	A	A
地域での交流を通じて共に安心して過ごせる交流空間の形成	地域交流活動 施設来場者数 (人/年)	34,601 人/年 (R3)	66,000 人/年 (R9)	87,165 人/年 (R7)	A	A	A

< 基準値からの改善状況 (※1) >

最新値が基準値や目標値と比較してどうであるかで判断

A : 目標達成、B : 基準値より改善、C : 基準値に及ばない

< 目標達成に関する見通しの分類 (※2) >

計画終了時の数値が、基準値や目標値と比較してどのような見通しかで判断

A : 目標達成が見込まれる

B : 目標達成が見込まれないが基準値を上回ることが見込まれる

C : 目標達成及び基準値を上回ることが見込まれない

※「< 基準値からの改善状況 (※1) >」、< 目標達成に関する見通しの分類 (※2) >ともに、関連する事業等の進捗状況が順調でない場合は、英字を小文字にして下線を引いて下さい。(例：a、b、c)

2. 目標達成見通しの理由

目標指標「歩行者通行量」(平休日平均)については、前年度と比較して微増という結果となった。特に、東放射線アイロード②の休日の歩行者通行量は、前年度から 23%増加しており、令和 5 年度に整備されたえきまえテラスでの定期的なイベントの開催など、中心市街地における主要事業の効果が現れたものと考えられる。一方、一部の調査地点では前年度を下回っており、地点ごとの増減にはばらつきが残る状況である。今後は、中心市街地周辺に新たに誕生する「桑都の杜」や「イオン八王子滝山」と連携した取り組みを実施し、中心市街地への来訪者の増加に繋げながらも、既存事業を着実に実施することにより、目標達成が可能であると考えます。

参考指標「てくポ利用者数」については、令和 5 年度以降目標値を達成し続けている。てくポ利用登録者数とまちなか休憩所八王子宿来場者数のいずれも増加傾向にあることから、令和 9 年度においても目標達成は十分に可能であると考えます。

目標指標「空き店舗数」については、令和 6 年度に引き続き目標値を達成する結果となった。

近年は飲食店の新規出店が多くみられ、ラーメンや麻辣湯などを目的としてまちなかで行列ができる様子も見受けられる。中心市街地の飲食店を取り上げるインフルエンサーも多く、飲食を目的に中心市街地に訪れる来訪者がさらに増加することが予測され、目標指標「歩行者通行量」の目標達成に向けた取組と併せて、引き続き主要事業の取組を着実に進めていく。

目標指標「地域交流活動施設来場者数」についても、令和5年度以降、目標値を大きく超える数値を維持し続けている。令和7年度末には、JR八王子駅からの来訪者が多く往来する西放射線ユーロード沿いに、まちなか休憩所八王子宿と桑都テラスへの案内表示を設置した。両施設は西放射線ユーロードから外れたところに位置しており、行き方が分かりにくいとの市民からの問い合わせが少なくない施設であった。今回の案内表示の設置により市民が訪れやすい環境が整備され、さらなる来場者の増加が期待できる。

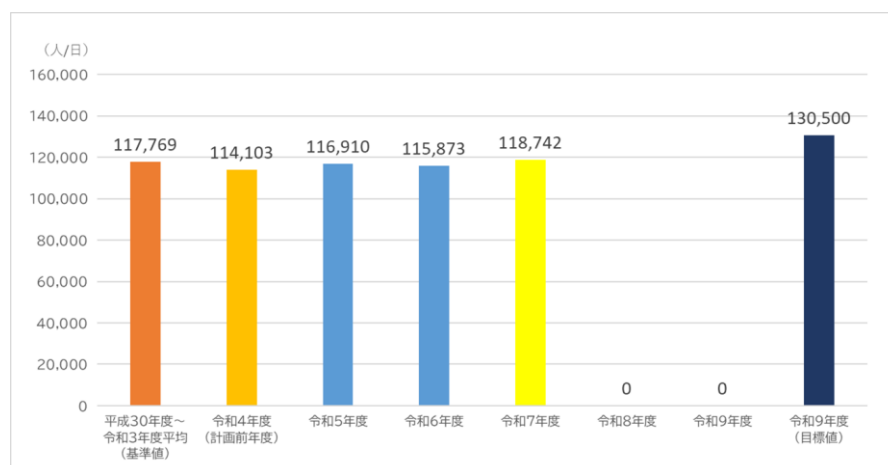
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

なし

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1)「歩行者通行量（平休日平均）」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 84～P. 88 参照

●調査結果と分析



年	(人/日)
H30~R3 平均	117,769 (基準年値)
R4	114,103
R5	116,910
R6	115,873
R7	118,742
R8	
R9	
R9	130,500 (目標値)

※調査方法：中心市街地内 23 地点における歩行者数を計測

(11 月第 4 日曜日及びその 2 日後の火曜日の 9 時～22 時)

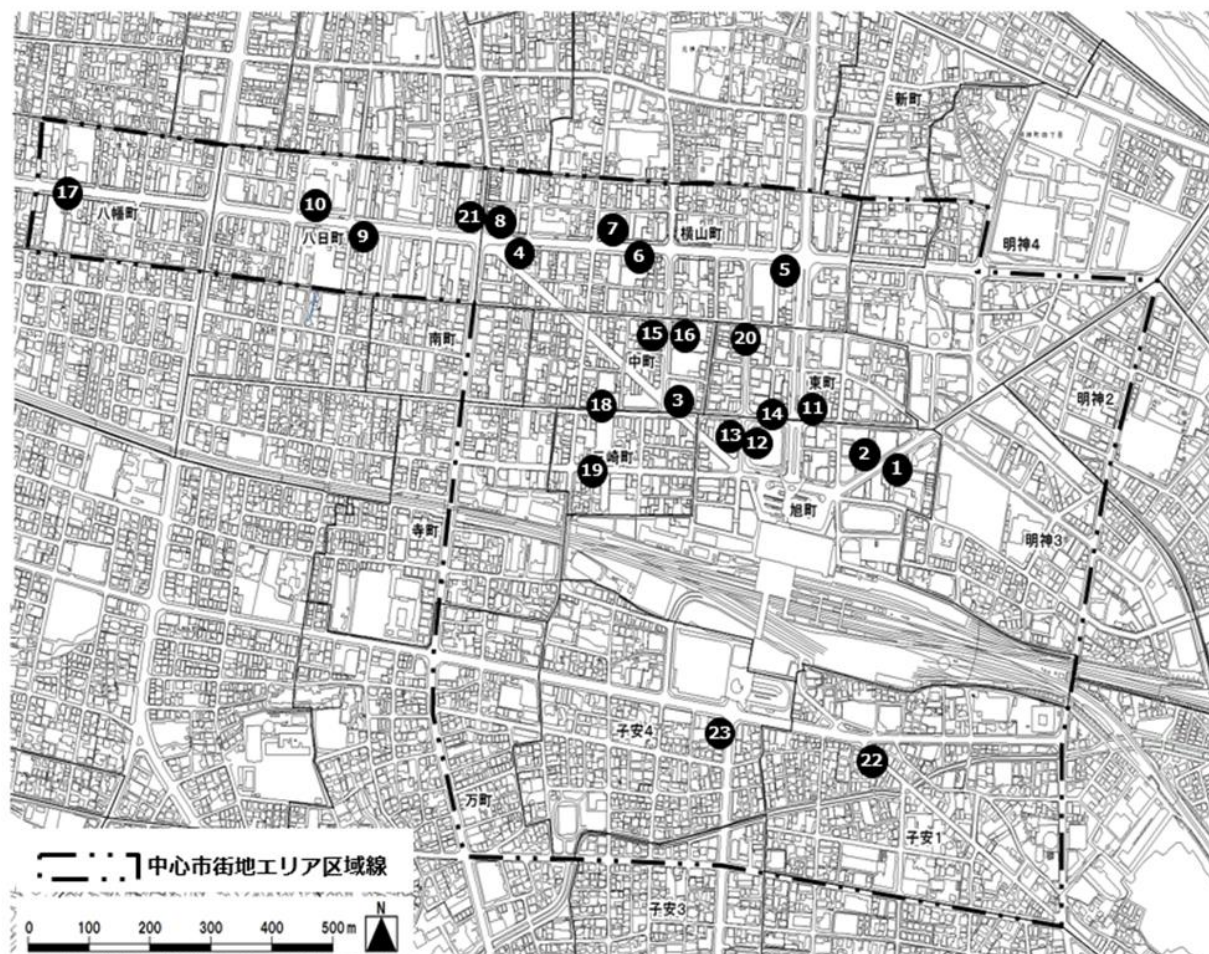
※調査月：令和 7 年 11 月

※調査主体：八王子市

※調査対象：中心市街地内 23 地点における歩行者通行量

(①東放射線アイロード①、②東放射線アイロード②、③ドン・キホーテ前、④横山町公園、⑤八王子駅入口交差点、⑥甲州街道①、⑦甲州街道②、⑧八日町交差点、⑨甲州街道③、⑩甲州街道④、⑪桑並木通り、⑫八王子スクエアビル西①、⑬八王子スクエアビル西②、⑭八王子スクエアビル北、⑮パーク壺番街通り①、⑯パーク壺番街通り②、⑰甲州街道⑤、⑱富士見通り、⑲みさき通り、⑳ジョイ五番街通り、㉑みずき通り、㉒野猿街道、㉓とちの木通り)

※調査地点図：下図のとおり



※調査結果：下表のとおり

(単位：人/日)

		平成30年度～ 令和3年度平均	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
		(基準値)	(計画前年度)	(1年目)	(2年目)	(3年目)	(4年目)	(5年目)	(目標値)
歩行者通行量									
※平日平均＝(休日23地点合計値×2 ＋平日23地点合計値×5)÷7 ※平均結果は四捨五入		117,769	114,103	116,910	115,873	118,742	0	0	130,500
休日	合計	120,075	120,182	117,859	124,909	129,272	0	0	
	No1 東放射線アイロード①	17,463	16,503	20,267	16,718	16,803			
	No2 東放射線アイロード②	3,864	3,975	3,608	4,135	5,096			
	No3 ドン・キホーテ前	21,021	22,635	23,282	23,935	24,162			
	No4 横山町公園	9,635	8,927	7,836	9,476	9,565			
	No5 八王子駅入口交差点	3,280	4,107	3,244	4,365	4,238			
	No6 甲州街道①	2,113	2,123	2,068	2,227	2,446			
	No7 甲州街道②	1,537	2,035	1,541	1,414	1,607			
	No8 八日町交差点	1,928	2,304	1,963	2,314	2,372			
	No9 甲州街道③	2,610	2,510	2,441	2,603	2,670			
	No10 甲州街道④	3,045	2,362	2,429	2,397	2,647			
	No11 桑並木通り	6,814	6,882	6,099	6,631	6,953			
	No12 八王子スクエアビル西①	8,209	8,167	7,462	8,537	8,942			
	No13 八王子スクエアビル西②	3,002	3,742	3,148	3,760	4,080			
	No14 八王子スクエアビル北	9,952	8,517	8,062	9,348	9,351			
	No15 パーク壱番街通り①	2,472	2,697	2,189	2,849	2,777			
	No16 パーク壱番街通り②	4,494	3,180	3,112	3,596	3,432			
	No17 甲州街道⑤	1,234	1,266	1,418	1,435	1,443			
	No18 富士見通り	4,796	5,383	5,168	5,359	5,508			
	No19 みさき通り	2,553	2,801	2,726	3,026	3,184			
	No20 ジョイ五番街通り	3,078	3,317	3,266	3,657	3,843			
	No21 みずき通り	1,603	1,518	1,228	1,462	2,290			
	No22 野猿街道	3,216	3,246	3,315	3,512	3,536			
	No23 とちの木通り	2,161	1,985	1,987	2,153	2,327			
平日	合計	116,846	111,671	116,530	112,259	114,530	0	0	
	No1 東放射線アイロード①	20,017	19,241	16,883	19,133	18,401			
	No2 東放射線アイロード②	4,932	4,685	4,791	4,676	4,935			
	No3 ドン・キホーテ前	17,323	17,325	18,355	16,404	18,911			
	No4 横山町公園	7,940	7,496	8,324	7,704	8,062			
	No5 八王子駅入口交差点	3,454	4,317	4,052	4,103	4,472			
	No6 甲州街道①	2,048	1,901	2,281	2,233	2,144			
	No7 甲州街道②	1,848	1,891	1,852	1,840	1,810			
	No8 八日町交差点	2,613	2,838	2,942	2,790	2,917			
	No9 甲州街道③	2,532	2,172	2,647	2,336	2,477			
	No10 甲州街道④	2,725	2,451	2,766	2,439	2,453			
	No11 桑並木通り	6,088	5,722	6,579	6,312	5,883			
	No12 八王子スクエアビル西①	6,895	6,708	7,405	6,762	6,945			
	No13 八王子スクエアビル西②	3,597	3,592	3,759	3,371	3,746			
	No14 八王子スクエアビル北	9,175	7,897	7,860	7,222	7,633			
	No15 パーク壱番街通り①	2,207	2,086	2,073	2,146	1,987			
	No16 パーク壱番街通り②	4,097	2,775	3,446	3,021	2,807			
	No17 甲州街道⑤	1,404	1,119	1,728	1,167	1,251			
	No18 富士見通り	5,078	4,769	5,127	5,088	4,599			
	No19 みさき通り	2,871	2,654	2,871	3,103	2,708			
	No20 ジョイ五番街通り	2,937	3,210	3,383	3,261	3,512			
	No21 みずき通り	1,414	1,251	1,470	1,460	1,302			
	No22 野猿街道	3,087	3,034	3,102	3,144	2,846			
	No23 とちの木通り	2,568	2,537	2,834	2,544	2,729			

〈分析内容〉

休日については、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限の解除以降、えきまえテラスをはじめとする滞留空間を活用した民間事業者主体のイベントが継続的に実施されている。こうした取組が来街行動に一定の影響を与えている可能性もあり、ほとんどの調査地点において歩行者通行量の増加が確認されている。

このうち、みずき通りにおける休日の歩行者通行量が828人増加した要因の一つとして、令和7年7月に、いちょうホールが約1年半に及ぶ改修期間を経てリニューアルオープンしたことが挙げられる。これにより、駅から当該施設へ向かう人の流れが再び形成されてきた可能性がある。

一方、平日については、マンション建設の進展により居住者数が増加している八日町・八幡町エリアの甲州街道沿いの調査地点や、日用品の購入が可能なドン・キホーテ前、八王子スクエアビル周辺の調査地点において、歩行者通行量の増加が確認されている。これらの地点では、主に通勤や買い物を目的とした歩行者が多いものと考えられる。他方で、飲食店が集積しているものの居住機能が比較的少ない通りにおいては、歩行者通行量が減少傾向にある。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 伝統文化伝承・未来創造プロジェクト運営事業

(一般財団法人八王子市まちづくり公社、八王子商工会議所、八王子市)

事業実施期間	令和2年度～【実施中】
事業概要	本市の歴史・文化の発信・伝承や地域に根ざす老舗の創出を図るとともに、アフターコンベンションに資する複合施設（桑都テラス）を運営する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和7年度の施設来場者数は221,908人であった。令和6年度と比較して約2万人減少した要因は、令和6年度に開催した「八王子桑都千景」事業に伴うオープニングイベントを令和7年度は開催しなかったことが要因と考えられる。ただし、令和7年度においても年間57件のイベントが開催されており、来街者の増加に向けた取組は引き続き実施されている。
事業の今後について	近隣住民からは一定程度認知されるようになってきた一方で、観光目的で市外から訪れる来場者は、依然として多いとは言えない状況にある。そこで、観光客を主なターゲットとしたさらなる施設来場者数の増加を目指し、令和8年度には、「八王子桑都千景～江戸の粋と未来を紡ぐ観光まちづくりプロジェクト～」の取組の一環として、桑都テラスにおいて江戸文化体験プログラムの提供を開始する予定である。

②. 八王子駅南口集いの拠点連携事業（八王子市、民間事業者）

事業実施期間	令和5年度～【実施中】
事業概要	令和8年度供用開始予定である「八王子駅南口集いの拠点」の来場者の中心市街地への誘導を促進するため、同拠点と連動したイベントの開催や街路へのフラッグの掲示等を実施する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置無し
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和7年度は、JR八王子駅南口周辺の町会・商店会等と連携し、計2回のワークショップを実施した。その成果を踏まえ、休憩スペースとしてのベンチを設置するなど、とちの木通りにおける賑わい空間の創出を図った。

事業の今後について	ワークショップにおいて集まった意見を基に、引き続き賑わい創出に向けたイベントの実施等に向けて調整を行っていく。
-----------	---

③. MICE等来街者おもてなし促進事業
(八王子市、公益社団法人八王子観光コンベンション協会)

事業実施期間	令和 5 年度～【実施中】
事業概要	東京たま未来メッセ等における MICE 及び各種イベント、会議への来街者をまちなかに誘引し、中心市街地内での消費を喚起するために、プロモーション活動や歓迎フラッグの掲示等を行う。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和 5 年度～令和 9 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和 7 年度における中心市街地での MICE 開催件数は 33 件であった（前年度 16 件から増加）。東京たま未来メッセ等で実施された MICE や各種イベント、会議の来街者に対して観光パンフレット等を配布することで、まちなかへの誘引に寄与している。 また、令和 6 年度に実施した「八王子桑都千景」において設置したフラッグやのれん、行燈を引き続き活用し、MICE 等の来街者をまちなかへ誘引するとともに、江戸の風情を感じながらのまちあるきを楽しめる環境づくりに寄与している。 これらの取組により、MICE 来街者を中心市街地へ誘導し、回遊性の向上に一定程度寄与することで、目標指標である歩行者通行量の増加に向けた基盤形成につながっていると考えられる。
事業の今後について	より多くの来街者をまちなかに誘引するため、引き続き観光パンフレット等を配布するほか、中心市街地の情報を効果的に発信していく。

④. 空き店舗改修・リノベーション事業（八王子市）

事業実施期間	平成 30 年度～【実施中】
事業概要	まちなかの店舗の連続性の確保と出店促進に向け、中心市街地内の空き店舗を改修又はリノベーションして出店する事業者に対して補助を行う。 ・補助対象経費：解体工事費、外壁工事費、看板設置工事費、内装工事費、建具工事費、給排水衛生設備工事費、電気設備工事費、空調・冷暖房設備工事費、ガス設備工事費、住宅分離工事費 ・補助限度額：50 万円又は実際に要した費用のいずれか少ない額
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和 5 年度～令和 9 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和 7 年度は、本事業を活用して新たに 10 店舗が開業し、本事業開始以降、補助金最多交付件数となった。令和 5 年度以降毎年度、本事業だけで年間 7 店舗の空き店舗解消の目標（空き店舗マッチン

	グ事業と併せた目標）を達成しており、魅力ある店舗の新規出店を支援することにより、歩行者通行量の増加に寄与している。
事業の今後について	引き続き市公式ホームページなどでの周知に力を入れ、活用を促進する。
⑤. 空き店舗マッチング事業（八王子市）	
事業実施期間	平成 30 年度～【実施中】
事業概要	民間の不動産事業者等と連携し、中心市街地の空き店舗に出店を希望する者に対して、出店希望条件に合った貸店舗の情報を提供し、出店希望者とオーナーとのマッチングを行い、空き店舗解消、新規出店の促進を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和 7 年度は、1 件の申請があったものの、出店希望者の希望に合致する店舗の情報提供がなかった。
事業の今後について	現在では、希望する物件について、誰でも容易にインターネットで情報を収集することが可能となっている。また、中心市街地における路面の空き店舗数は減少傾向にある。このため、今後、申請者数や希望する物件に関する情報提供件数は、一定程度に限られることが想定される。 空き店舗解消による歩行者通行量の増加に向けては、特に情報提供ができなかった出店希望者に対し、空き店舗改修・リノベーション事業の活用について周知を図ることで、両事業を一体的に推進していく。
⑥. まちなか休憩所 八王子宿の運営（八王子市）	
事業実施期間	令和 2 年度～【実施中】
事業概要	来街者の安らぎの空間を創出し、中心市街地の回遊性を促進するため、西放射線ユーロードに近接する中町において休憩施設を運営する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置無し
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和 7 年度の施設来場者数は 54,016 人であった。モバイルバッテリーシェアリングサービスや公衆無線 LAN 等のサービスを充実させたこともあり、施設への来場者数は増加している。あわせて、多くの人々が訪れる当該施設に観光案内等のパンフレットを設置することで、来街者の回遊性向上に寄与している。
事業の今後について	昨年度から、スマートフォンで簡単にアンケートに回答できる QR コードを施設内各所に設置しており、老若男女問わず、多様な利用者の声を把握する取組を行っている。引き続き、利用者の要望等を

	把握し、街歩きの休憩施設として満足度の高い施設となることを目指す。
⑦. まちの駅八王子 CHITOSEYA における地域活性化事業（民間事業、八王子市）	
事業実施期間	令和 4 年度～【実施中】
事業概要	八王子市と運営に係る覚書を締結した民間事業者が主体となり、定期的に様々なコミュニティづくりの場を設け、地域の NPO 法人や商店会・町会、新規創業者、クリエイター、学生、新規住民等の積極的な参画を促し、新たなつながりや価値が創出される拠点として活用して、活発な地域づくりを促進する。 また、施設の飲食・物販機能を活かして、市内の生産者や福祉施設等による商品の PR を行い、共感の創出及び地産地消を推進するとともに、サステナブル地域づくり等に向けた参加機運の醸成を図る。 その他、農業者や地場産業事業者等と連携した体験教室やワークショップの開催、読んだ人が感想を重ねていく寄贈本による「まちライブラリー」の運営、ダンボールコンポストの講習会、再生パソコンやみつろうラップづくりワークショップの開催等、まちなかにいながら農と自然・ものづくりをはじめとする様々な体験及び交流ができる「まちの駅」としての場を創出する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和 5 年度～令和 9 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和 7 年度の来場者数は 19,149 人であった。新たに 13 件のイベントを開催し、市民を飽きさせることなく、多世代交流の場や八王子の魅力を発見する場として、多くの市民に親しまれている。 また、施設の向かい側に位置する八王子市夢美術館への来訪者を誘引するため、同館で開催されている企画展と連動した読書会等を不定期で開催しており、エリア全体としての回遊性向上にも寄与している。
事業の今後について	シェアキッチンとしてのスペース貸出を導入することにより、新規創業者の挑戦の場としても活用してもらうことで、新たな来場者の獲得につなげる。
⑧. 魅力づくり・にぎわい創出支援事業（八王子市）	
事業実施期間	平成 30 年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の新たな魅力創出による回遊性促進のため、民間事業者の土地を活用した滞留拠点や休憩スペース、統一的な景観といったハード整備に対して支援を行う。 また、中心市街地内で実施される屋外イベントや飲食店を回遊するイベント、オープンカフェなどのうち、公共性・公益性が高く、八

	王子のシティプロモーションに資するソフト事業に対して支援を行う。 【ハード整備支援】 ・補助対象経費：施設整備費、物品購入費、広告作成費、イベント開催費 ・補助率：4/5 【ソフト事業支援】 ・補助対象経費：広報費、会場設営費、安全衛生対策費、消耗品費、謝金、諸経費 ・補助率：10/10
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和５年度～令和９年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和７年度における本事業の活用実績は、ハード事業１件、ソフト事業７件の計８件であった。 ハード事業では、雑居ビルが立ち並ぶエリアの一角に位置する老朽化した店舗を解体し、その跡地として生じた空間を活用して、来訪者が日常的に一休みできる滞留拠点を整備した。当該拠点では、キッチンカーの出店時には、飲食等も楽しめる場として活用されている。 ソフト事業では、ナイトタイムエコノミーの推進に向けて「Bar MAP」を作成し、飲食店やホテル等に２万部を設置・配布した。それにより、来街者に対して中心市街地に点在するバー等の店舗情報を広く周知することができ、夜間のまちなか回遊を促進する効果が期待される。また、配布先を宿泊施設等としたことで、観光客等の新たな来街者層へのアプローチにも寄与していると考えられる。 なお、MAPの作成にあたっては、中心市街地のバー店舗が有志で集まり、「HACHIOJI BAR COMMUNITY」を立ち上げており、今後は、さまざまなイベントを開催することにより、中心市街地への来訪者増加につながることを期待される。
事業の今後について	引き続き市公式ホームページや広報誌などでの周知に力を入れ、活用を促進する。

⑨. 八王子まつり（八王子まつり実行委員会）

事業実施期間	昭和３６年度～【実施中】
事業概要	コミュニティづくりを促進し、豊かな市民生活といきいきとした地域社会の発展を図るため、甲州街道と西放射線ユーロードを会場に、山車巡行、神輿渡御、民踊流しなどを実施する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和５年度～令和９年度）
事業目標値・最新値	令和７年８月１日（金）から３日（日）の３日間開催され、約２３０

値及び進捗状況	店舗の夜店が出店、3日間で約70万人が来場した。来場者数は前年度（約80万人）と比較して減少したものの、依然として多くの来場者を集めており、中心市街地への高い集客力を維持している。 八王子まつりは、町会ごとに山車が巡行し、市民の郷土愛が育まれる地域に根付いた伝統的な行事である。市外からも多くの来場者が訪れることから、地域の魅力を市内外に伝え、歩行者通行量の増加に寄与している。 また、本計画に位置付けることで、従来から実施しているまつりを来街者の回遊促進や滞在時間の延伸につなげる取組として展開しており、単発的なイベントとしての集客にとどまらず、中心市街地全体のにぎわい創出に波及する効果が期待される。
事業の今後について	令和8年度は、令和7年度には中止していた金曜日の甲州街道沿いでの夜店が再開するため、更に来場者数が増加することが見込まれる。

●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業は概ね順調に進捗しており、目標の達成は可能と見込まれる。

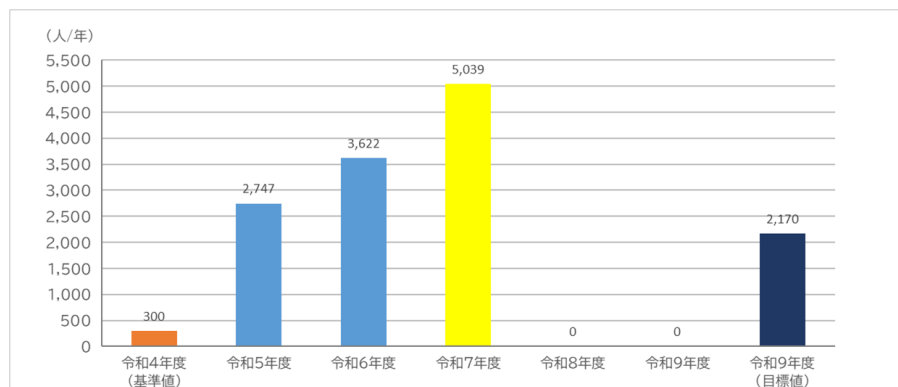
一方、確実な目標達成に向けては、平日における中心市街地への来訪者数の増加が課題である。そのため、通勤や買い物を目的とした近隣住民に加え、観光等を目的とした市外来訪者の増加につながる施策を実施していく必要がある。その一環として、令和8年度には、「八王子桑都千景～江戸の粋と未来を紡ぐ観光まちづくりプロジェクト～」において、観光客向けの江戸文化体験プログラムの提供を開始する予定である。

また、中心市街地周辺に新たに誕生する「桑都の杜」や「イオン八王子滝山」には、市外からの来訪者も多く訪れることが想定されることから、これらの施設と連携した取組を実施することで、中心市街地への来訪者増加を図ることが重要である。

（２）【参考指標】「てくぽ利用者数（人/年）」

※目標設定の考え方認定基本計画 P. 84～P. 88 参照

●調査結果と分析



年	(人/日)
R4	300 (基準年値)
R5	2,747
R6	3,622
R7	5,039
R8	
R9	
R9	2,170 (目標値)

※調査方法：まちなか休憩所八王子宿における「てくぽ」のチェックイン件数

※調査月：令和7年4月～令和8年3月

※調査主体：八王子市

※調査対象：まちなか休憩所八王子宿における「てくぽ」利用者

〈分析内容〉

令和7年度の「てくぽ」のチェックイン件数は、前年度と比較して1,417件増加となった。てくぽは健康づくりを目的に利用されるものであり、まち歩きをした際に訪れると便利なまちなか休憩所八王子宿との相性が良い。このため、今後も順調にチェックイン件数は増加し、目標達成は可能と考えられる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. まちなか休憩所 八王子宿の運営（八王子市）

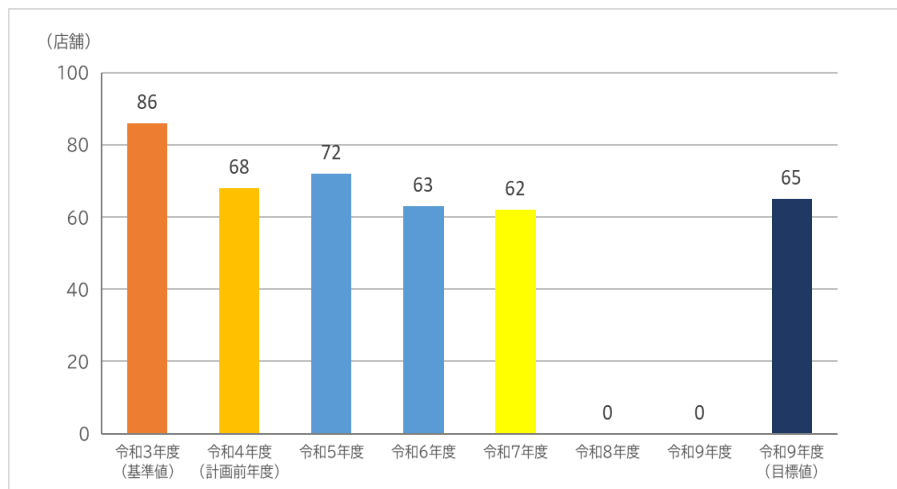
事業実施期間	令和2年度～【実施中】
事業概要	来街者の安らぎの空間を創出し、中心市街地の回遊性を促進するため、西放射線ユーロードに近接する中町において休憩施設を運営する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置無し
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和7年度の施設来場者数は54,016人であった。 てくぽの貼紙を、視認性が高くわかりやすいデザインに更新した。
事業の今後について	引き続き適切に施設の管理を行い、利用者が立ち寄りたくなる施設運営を続けていく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

既に目標値を達成しており、「てくぽ」利用登録者数とまちなか休憩所八王子宿来場者数ともに増加傾向にあることから、今後も目標値をさらに上回る数値が期待できる。引き続き、だれもが気軽に立ち寄れる休憩所として、まちなか休憩所八王子宿の管理を行う。

(3)「空き店舗数」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 90～P. 91 参照

●調査結果と分析



年	(人/日)
R3	86 (基準年値)
R4	68
R5	72
R6	63
R7	62
R8	
R9	
R9	65 (目標値)

※調査方法：巡回・目視により中心市街地内の空き店舗数を計測

※調査月：令和7年11月

※調査主体：八王子市

※調査対象：中心市街地内において、テナントに入居していないなど、事業活用の可能性があるものの活用されていない路面店舗。

〈分析内容〉

令和7年度の中心市街地内の空き店舗数は、前年度から1店舗減少し62店舗となり、空き店舗数は引き続き改善傾向を維持している。

特に「募集あり」の空き店舗は13店舗と前年度から減少しており、中心市街地への出店意欲が高まっていると考えられる。令和6年度に募集されていた空き店舗のうち、約6割が入居により解消されており、中心市街地への出店意欲は引き続き堅調である。

また、募集なし物件については、老朽化等により解体され、新たにマンションが建設されるなどの動きが見られた。このような物件に対しては、「八王子市中心市街地環境整備事業に関する指導要綱の運用」事業の取組により、建築計画の段階から低層階に商業等用途の利用が可能な空間を設けるよう指導している。

このような指導もあり、新規空き店舗は発生しているものの、物件の新陳代謝が進むことで、次の活用に向けた機会も生まれている。

総じて、令和7年度は空き店舗の解消と抑制が着実に進み、中心市街地の活性化に向けた前向きな循環が継続している。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 空き店舗改修・リノベーション事業（八王子市）

事業実施期間	平成30年度～【実施中】
事業概要	まちなかの店舗の連続性の確保と出店促進に向け、中心市街地内の空き店舗を改修又はリノベーションして出店する事業者に対して補助を行う。

	・補助対象経費：解体工事費、外壁工事費、看板設置工事費、内装工事費、建具工事費、給排水衛生設備工事費、電気設備工事費、空調・冷暖房設備工事費、ガス設備工事費、住宅分離工事費 ・補助限度額：50万円又は実際に要した費用のいずれか少ない額
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和5年度～令和9年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和7年度は、本事業を活用して新たに10店舗が開業し、本事業開始以降、補助金最多交付件数となり、そのうち路面店舗は5店舗と、中心市街地の路面空き店舗の解消に向け順調に進んでいる。 令和5年度以降毎年度、本事業だけで年間7店舗の空き店舗解消の目標（空き店舗マッチング事業と併せた目標）を達成している。
事業の今後について	引き続き市公式ホームページなどでの周知に力を入れ、活用を促進する。

②. 空き店舗マッチング事業（八王子市）

事業実施期間	平成30年度～【実施中】
事業概要	民間の不動産事業者等と連携し、中心市街地の空き店舗に出店を希望する者に対して、出店希望条件に合った貸店舗の情報を提供し、出店希望者とオーナーとのマッチングを行い、空き店舗解消、新規出店の促進を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和7年度は、1件の申請があったものの、出店希望者の希望に合致する店舗の情報提供がなかった。
事業の今後について	現在では、希望する物件について、誰でも容易にインターネットで情報を収集することが可能となっている。また、中心市街地における路面の空き店舗数は減少傾向にある。このため、今後、申請者数や希望する物件に関する情報提供件数は、一定程度に限られることが想定される。 空き店舗解消による歩行者通行量の増加に向けては、特に情報提供ができなかった出店希望者に対し、空き店舗改修・リノベーション事業の活用について周知を図ることで、両事業を一体的に推進していく。

③. 魅力づくり・にぎわい創出支援事業（八王子市）

事業実施期間	平成30年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の新たな魅力創出による回遊性促進のため、民間事業者の土地を活用した滞留拠点や休憩スペース、統一的な景観といったハード整備に対して支援を行う。 また、中心市街地内で実施される屋外イベントや飲食店を回遊する

	イベント、オープンカフェなどのうち、公共性・公益性が高く、八王子のシティプロモーションに資するソフト事業に対して支援を行う。 【ハード整備支援】 ・補助対象経費：施設整備費、物品購入費、広告作成費、イベント開催費 ・補助率：4/5 【ソフト事業支援】 ・補助対象経費：広報費、会場設営費、安全衛生対策費、消耗品費、謝金、諸経費 ・補助率：2/3
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和５年度～令和９年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和７年度における本事業の活用実績はハード事業１件、ソフト事業６件の計７件となった。 特にソフト事業では、中心市街地を回遊するまちあるきイベントや八王子に店を構える参加者を中心に開催するフードイベント等に対して補助をすることにより、中心市街地の個性ある店舗や歴史的資源の魅力を発信し、中心市街地へのリピーターを獲得することで、結果として空き店舗解消の一助となっている。
事業の今後について	引き続き市公式ホームページや広報誌などでの周知に力を入れ、活用を促進する。

④. 八王子まつり（八王子まつり実行委員会）

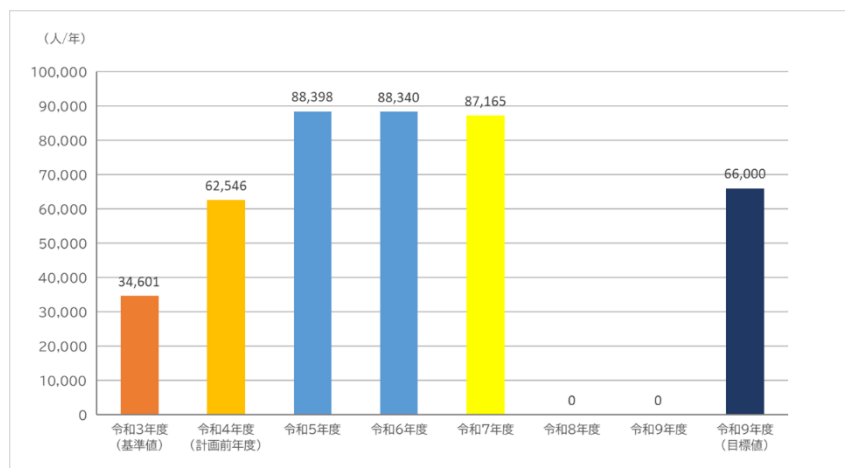
事業実施期間	昭和 36 年度～【実施中】
事業概要	コミュニティづくりを促進し、豊かな市民生活といきいきとした地域社会の発展を図るため、甲州街道と西放射線ユーロードを会場に、山車巡行、神輿渡御、民踊流しなどを実施する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和５年度～令和９年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和 7 年 8 月 1 日(金)から 3 日(日)の 3 日間開催され、約 230 店舗の夜店が出店、3 日間で約 70 万人が来場した。 八王子まつりは市内外から多くの来街者を呼び込み、中心市街地の回遊性と滞在時間を高めることで消費を喚起し、既存店舗の収益向上や新規出店意欲の促進につながり、空き店舗の減少に寄与する。
事業の今後について	令和 8 年度は、令和 7 年度には中止していた金曜日の甲州街道沿いでの夜店が再開するため、更に来場者数が増加することが見込まれる。

●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業は概ね順調に進捗しており、既に令和7年度時点で目標値を達成していることから、令和9年度においても目標達成は可能であると考えます。

今後は、引き続き空き店舗改修・リノベーション事業を中心に、空き店舗の解消に向けて取り組む。また、空き店舗数の減少には、既存店舗の空き店舗化を防ぐことも重要であるため、中心市街地におけるイベントの開催支援や情報発信などの歩行者通行量増加に向けた取組と併せて、着実に主要事業の取組を進める。

(4)「地域交流活動施設来場者数」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 93～P. 95 参照



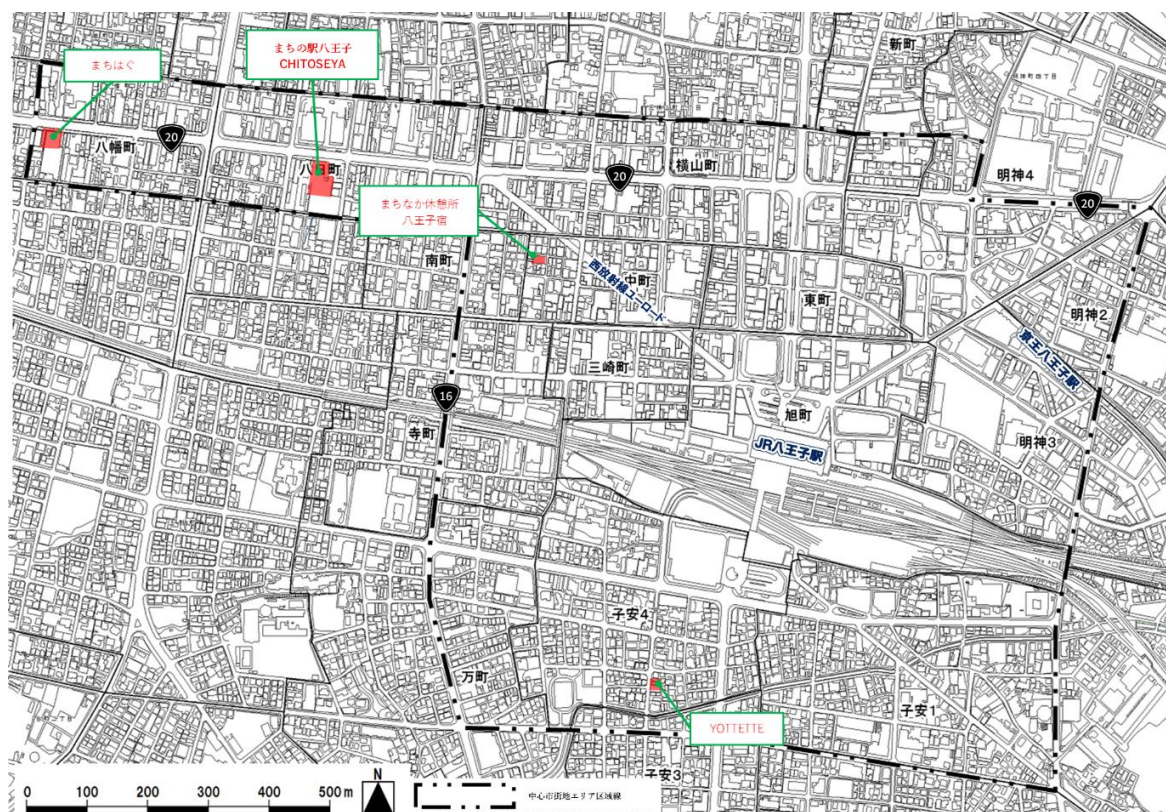
年	(人/日)
R3	34,601 (基準年値)
R4	62,546
R5	88,398
R6	88,340
R7	87,165
R8	
R9	
R9	66,000 (目標値)

※調査方法：施設運営者、施設管理受託者への調査

※調査月：令和7年4月～令和8年3月

※調査主体：八王子市

※調査対象：まちなか休憩所 八王子宿、まちなか休憩所 CHITOSEYA、YOTTETTE、まちはぐ



※令和4年度の「まちの駅八王子 CHITOSEYA」については、令和4年6月にオープンしたため、令和4年6月から令和5年3月の来場者数

(単位:人/年)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	(基準値)	(計画前年度)	(1年目)	(2年目)	(3年目)	(4年目)	(5年目)	(目標値)
地域交流活動施設来場者数	34,601	62,546	88,398	88,340	87,165	0	0	66,000
まちなか休憩所 八王子宿	21,347	34,719	52,176	52,930	54,016			32,000
まちの駅八王子 CHITOSEYA	13,254	14,327	20,722	21,410	19,149			22,000
YOTTETTE		5,000	5,000	5,000	6,000			12,000
まちはぐ		8,500	10,500	9,000	8,000			

〈分析内容〉

令和5年度以降、目標値の達成を維持している。

まちなか休憩所八王子宿については、近隣でのイベント開催等により知名度が向上し、来場者数は着実に増加している。

一方、まちの駅八王子 CHITOSEYA では来場者数が約2千人減少している。これは、例年、八王子まつりにおいて道路上に出店される屋台を目的に来訪する人の流れが集客につながっていたところ、八王子まつり初日の出店が中止となったことにより、例年ほど人出がなかったことが影響していると考えられる。また、火曜日のランチ営業を中止していたことにより、食事目的での来場者が減少したことも一因と考えられる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. まちなか休憩所 八王子宿の運営（八王子市）

事業実施期間	令和2年度～【実施中】
事業概要	来街者の安らぎの空間を創出し、中心市街地の回遊性を促進するため、西放射線ユーロードに近接する中町において休憩施設を運営する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置無し
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：32,000 人/年（当事業による地域交流活動施設来場者数） 最新値：54,016 人/年 JR 八王子駅からの来訪者が多く往来する西放射線ユーロード沿いに、まちなか休憩所八王子宿と桑都テラスへの案内表示を設置した。
事業の今後について	引き続き適切に施設の管理を行い、利用者が立ち寄りたくなる施設運営を続けていく。

②. まちの駅八王子 CHITOSEYA における地域活性化事業（民間事業者、八王子市）

事業実施期間	令和 4 年度～【実施中】
事業概要	八王子市と運営に係る覚書を締結した民間事業者が主体となり、定期的に様々なコミュニティづくりの場を設け、地域の NPO 法人や商店会・町会、新規創業者、クリエイター、学生、新規住民等の積極的な参画を促し、新たなつながりや価値が創出される拠点として活用して、活発な地域づくりを促進する。 また、施設の飲食・物販機能を活かして、市内の生産者や福祉施設等による商品の PR を行い、共感の創出及び地産地消を推進するとともに、サステナブル地域づくり等に向けた参加機運の醸成を図る。 その他、農業者や地場産業事業者等と連携した体験教室やワークショップの開催、読んだ人が感想を重ねていく寄贈本による「まちライブラリー」の運営、ダンボールコンポストの講習会、再生パソコンやみつろうラップづくりワークショップの開催等、まちなかにいながら農と自然・ものづくりをはじめとする様々な体験及び交流ができる「まちの駅」としての場を創出する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和 5 年度～令和 9 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：22,000 人/年（当事業による地域交流活動施設来場者数） 最新値：19,149 人/年 地域共生および多世代交流を目的として、「おれんじプラス」を 34 回開催し、延べ 385 名が参加している（4 月から 11 月までの実績）。本イベントは、認知症のある方に限らず、地域住民など誰もが参加できるものであり、認知症への理解を深めることを通じて、人と人とがつながる場となっている。
事業の今後について	引き続き広報誌や SNS 等において、イベント開催等の情報発信を積極的に行っていく。

③. 伝統文化伝承・未来創造プロジェクト運営事業

（一般財団法人八王子市まちづくり公社、八王子商工会議所、八王子市）

事業実施期間	令和 2 年度～【実施中】
事業概要	本市の歴史・文化の発信・伝承や地域に根ざす老舗の創出を図るとともに、アフターコンベンションに資する複合施設（桑都テラス）を運営する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和 7 年度の施設来場者数は 221,908 人であった。年間 57 件のイベントが開催され、新規来場者の増加に寄与している。来場者の

	増加に伴い、近隣施設であるまちなか休憩所八王子宿への来場者の増加にも寄与している。
事業の今後について	引き続き公式ホームページや広報誌、タブロイド紙などで周知を実施する。

④. 中心市街地情報サイト「まちな」の運営（八王子市、八王子商工会議所、民間事業者）

事業実施期間	令和4年度～【実施中】
事業概要	中心市街地及び市内の店舗情報やイベント情報、観光情報等を発信するポータルサイトを運営するとともに、当該サイトを中心市街地おもてなし通信環境（Wi-Fi）の自動接続先に設定することで、来街者に対して効果的に情報発信を行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和7年度は、464件の中心市街地の魅力を発信する記事を投稿し、閲覧数は約6.5万PVとなった。また、引き続きInstagram版の運用も実施しており、効果的な情報発信を図った。地域交流活動施設及び周辺地域におけるイベント開催時に情報発信を行うことで、地域交流活動施設来場者数の増加に寄与している。
事業の今後について	サイトの閲覧数が減少傾向である一方で、Instagramの閲覧数が着実に増加している。より効果的に情報発信を行うために、発信媒体を精査する。

⑤. 八王子まつり（八王子まつり実行委員会）

事業実施期間	昭和36年度～【実施中】
事業概要	コミュニティづくりを促進し、豊かな市民生活といきいきとした地域社会の発展を図るため、甲州街道と西放射線ユーロードを会場に、山車巡行、神輿渡御、民踊流しなどを実施する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和5年度～令和9年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和7年8月1日(金)から3日(日)の3日間開催され、約230店舗の夜店が出店、3日間で約70万人が来場した。 八王子まつりでは、甲州街道沿いに位置する「まちな駅八王子CHITOSEYA」および「まちはぐ」が出店した。また、「まちなか休憩所八王子宿」も休憩スペースとして開放し、4,433名の利用者が訪れた。 本祭りを通じてこれらの施設の取組を知った来場者が、平常時にも利用することに大きく寄与している。
事業の今後について	令和8年度は、令和7年度には中止していた金曜日の甲州街道沿いでの夜店が再開するため、更に来場者数が増加することが見込まれる。

●目標達成の見通し及び今後の対策

まちの駅八王子 CHITOSEYA のみ目標値を下回っているものの、まちなか休憩所八王子宿の来場者数が目標値を大幅に超えていることに加え、まちはぐ、YOTTETTE の来場者数が比較的安定していることから、目標達成が見込まれる。

ただし、居住者の多い八日町エリアに位置するまちの駅八王子 CHITOSEYA において多世代交流の場を提供し、多くの来場者に利用してもらうことは重要であるため、今後も来場者数の増加に向けて、Instagram や広報誌等を活用して情報発信を行うことが必要となる。